

○-157の感染経路

○-157は菌が飲食物などを介して口から入ることで感染します。

菌のついた手や調理器具などを介しても菌が食物にうつり感染します。



感染したときの症状

感染後4～8日の潜伏期の後、症状を引き起こします。

初期は風邪と同じような症状のことがあります。腹痛や水様便を伴い、出血性となることがあります。

発熱を伴うこともありますし、盲腸炎に似た症状が出ることもあるので、注意が必要です。

下痢を起こした時の注意

1

容易に下痢止めなどを服用しないで、すぐ医師の診断を受け指示に従いましょう。乳幼児は特に注意しましょう。



2

二次感染を予防するため、疑わしい時には風呂に入らず、シャワー又はかけ湯にしましょう。又、体調の悪い時は、プール、海水浴は止めましょう。



3

便には直接触れないようにし、触れたときは、石鹸を使い流水で十分に洗い流しましょう。



栄養

休養

睡眠

を十分とって健康の保持増進に努めましょう

お問い合わせ先:鳥取市健康対策課(鳥取市保健センター)

TEL 22-8111(内線6142～6144)・20-3191